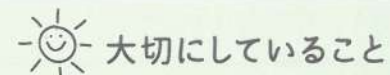


アフタースクール PFS

(児童発達支援／放課後等デイサービス)



ひとりひとりの個性・能力を尊重して、その子どもたちの発達段階やテンポに合わせた支援。
まずは、“ホッ”とできる居場所に。

対象者

通所受給者証をお持ちの方

定員

10人／日 ※2024年4月現在

開所時間

月・水・金…10時～16時

火・木…12時～19時

※学校長期休業期間(夏休み、冬休み、春休み等)…10時～16時

※休業日…土日祝、年末年始

※但し、個別の事情により配慮が必要な場合はご相談ください

費用

ご負担頂く金額は、世帯所得に応じて上限の金額が定められています。

場 所

〒460-0011 名古屋市中区大須1-21-35

地下鉄鶴舞線「大須観音駅」3番・4番出口より徒歩1分

連絡先

052-228-0281

管理責任者

村川 公子

女の子のあこがれ! ネイル体験☆



アフタースクールPFSでは、手先の訓練や自己表現を楽しくできるような、様々なものづくりイベントを行っています。

2月と言えばバレンタイン。愛のこもったチョコに女の子の可愛さをプラスするようなイベントとして、「ネイル体験」を実施しました!

今回は衛生上の観点から、ネイルチップにジェルネイルやネイルシールを塗ったり貼ったりするという方法で行いました。

細筆でネイルチップに器用に絵を描く子や、乾いたジェルネイルに可愛いシールを選んでセンス良く貼っていく子など、思い思いの作品を楽しそうに作っていました。

今後子どもたちが「楽しい!」と思えるイベントを考えていきます!

他にもこんな活動をしています

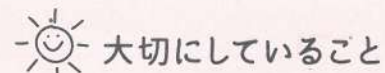


- TVの大画面にWiiスポーツやSwitchをつないで、スマブラ、マリオカート、スプラトゥーン3など、スタッフや利用者間で対戦。
- トランプ、ウノ、かるた、カードゲームなど、多人数でワイワイしながらコミュニケーション力を育む。
- 近くの公園でボール遊び、バドミントン、鬼ごっこをしたり、所内のウッドデッキで卓球をして体を動かす。
- 少人数で近隣の街かど探索。
- 昼夜逆転していて、まだ寝不足だったら、昼寝もOK。

辛かったり、悲しかったり、不安だったりする時、一緒に寄り添って話を聴けるスタッフでありたいと思っています。

名古屋みらい高等学院

(広域通信制高校サポート校)



新しい一歩を踏み出すための、安心して過ごせる居場所と
安心してなんでも話せる信頼関係づくり

対象者

高卒資格を取得したいすべての人(年齢制限はありません)

在籍者数

50名 ※2024年4月現在

費用

登校コースによって異なります。

また学びの場が制限されることのないよう、生活保護世帯等を対象に、授業料軽減の取り組みも積極的に行っています。詳しくはHPをご覧くださいとか、直接お問い合わせください。

開所時間

月・水・金 10時～16時

場 所

〒460-0011 名古屋市中区大須1-21-35

地下鉄鶴舞線「大須観音駅」3番・4番出口より徒歩1分

連絡先

052-228-0280

教務主任

笹口 滉平



名古屋みらい高等学院では、生徒が主体となって活動することを大切にしています。生徒主導で立ち上がった野球部や、生徒からの希望をもとに協力して運営する特別活動(学校行事)など、さまざまなイベントを実施しています。普段の登校日にも、学年を超えて勉強を教えあったり、勉強の合間にはみんなでボードゲームを楽しむ時間が自然に生まれたり、自分らしさを発揮しながら、安心して過ごせる居場所として学校を開放しています。

また、PFSの他事業のスタッフや、地域の方々とも連携をとり、大人たちが一体となって支援をしているのも名古屋みらい高等学院の特長です。



教務スタッフは学習指導のほかに、進路や生活上の悩みについても、面談を通じて生徒一人ひとりと真剣に向き合い、問題解決につなげていきます。教務スタッフと生徒の距離が近く、なんでも話しやすいのが名古屋みらい高等学院の良いところ。最近おもしろかったアニメの感想から、友人や家族関係、体調のことなど、いろいろな話を日々、私たち教務スタッフは聴いています。

非行やひきこもり、障害や経済的困窮など、子どもたちが抱える困難は本当にさまざまです。私たちは保護者の方や他の支援機関等とも連携をとりながら、入学から卒業まで、子どもに寄り添いながら支援していきます。

北部ステップアップルーム みらie.

(名古屋市若者自立支援ステップアップ事業)



大切にしていること

一緒に過ごし
一緒に悩み、一緒に考える

対象者

自立に関する悩みをもつ概ね
15歳から39歳までの若者とその家族(名古屋市在住の方)

開所時間

毎週 月・火・水・金・土 10時～16時(祝日を除く)

費用

原則無料(ただし、一部実費を負担していただく場合があります)

場所

〒462-0816
名古屋市北区平安通1-5 ヴェロードリベルテ2階

連絡先

052-325-2890

管理責任者

大澤 祐斗

みらieを利用する方はそれぞれの悩みや目標を抱えて来所します。居場所スペースで、時には悩みを忘れて楽しい時間を共有したり、時には抱える悩みや目標についてスタッフと一緒に向き合ったりしながら、それぞれのペースで自立へと歩みを進めています。ある日、みらieの利用を開始したばかりのAさんが居場所に慣れずそわそわしていると、利用者のBさんが「アニメとか見るの?」と声をかけてくれました。最初、Aさんはやや戸惑った様子でしたが、Bさんの柔らかな声掛けに少しずつ言葉を返すことができるようになりました。それだけでなく、Bさんの声掛けに興味を示した他の利用者達が会話に混ざるようになり、輪になって色んな話題で盛り上がるようになりました。Aさんがその会話に置いて行かれそうになると、Bさんをはじめとして、他にも気が付いた利用者が声をかけたり、別の話題を出したりといったフォローをしていていました。みらieで過ごす仲間として、一体となって楽しもうとする素敵な光景でした。

写真は、数人でその月のプログラム表を見ている光景です。「この日はどんなことをするんだろう」とイメージを膨らませたり、楽しみなプログラムを見つけて「この日は来れるかなあ」とスケジュールを確認したりしています。また、プログラムの話題をきっかけに心に浮かんだもやもやした気持ちをスタッフへ話す方もいました。スタッフと一緒に考えることで、気持ちの整理をつけることができたようです。居場所スペースでの過ごし方は人それぞれです。みんなで過ごす時間を大切にしている方もいれば、一人でゆったりと過ごす時間を大切にしている方もいます。それでも、いざという時に一緒に悩み、一緒に次のステップを進める、みんなにとってのもう一つの家がみらieです。和やかな空間で、自立を望む皆さんのお話が聞けることをお待ちしております!



名古屋市南部ステップアップルーム『ミライエ』
(一般社団法人日本ダイバーシティ推進協会)
☎052-684-6461
Mail:soudan@stepup-nanbu.nagoya



あなたらしい未来を、あなたのペースで歩みだすステップを応援しています。居場所での過ごす時間や場所・過ごし方は、それぞれの方が選択できるよう工夫しています。安心して通える場所であり続けること、わたしたちが一番大切にしていること。あなたらしいミライと一緒に探しましょう! 開所時間は月曜～金曜の10時～16時、20代の若者たちがたくさん集まっています。

名古屋市若者自立支援 ステップアップ事業

ニートやひきこもり等自立に向けての悩みを有する若者が、自ら就労や進学等の自立に向けた取り組みができるよう、当事者同士が自宅以外に集まることのできる場所を設け、社会人として必要なコミュニケーション力や基礎知識を身につける等の支援や親をはじめとした家族に対する支援を進めています。本事業では、自立に向けての悩みを有する若者とその家族を対象として、電話相談をはじめ、継続的なカウンセリング、居場所の提供、各種支援プログラムやセミナーの実施、親支援サービスの保護者向け情報交換会など、一人ひとりの状況に応じた支援を実施しています。本事業では2団体を受託し、北区と中区でそれぞれ運営しています。

名古屋市ひとり親家庭の 子どもの居場所づくり事業

学校や地域など子どもが集団の中でふたり親家庭との違いを敏感に感じ取り孤立感を深めがちである一方、思春期における家族観の変化から家庭以外の居場所を求める傾向にあるひとり親家庭の子どもに対して、子ども同士が絆を深めることのできる第3の居場所(サードプレイス)を提供し、参加した子どもが基本的な生活や学習の習慣及び協調性を身につけるとともに、自己肯定感の獲得や将来への自立意欲を高めることを目的として、本事業を実施しています。本事業では4団体が受託し、熱田区、北区、中村区、緑区でそれぞれ運営しています。運営団体によって特色があり、様々な工夫で子どもたちが安心して居場所を提供しています。

PFS居場所スペース あしタネ。

(名古屋市ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業)



大切にしていること

子どもにとっての「こころの秘密基地」となる
自分で決め、互いを尊重し合うサードプレイス

対象者

名古屋市内にお住いの ひとり親家庭の方
小学校5年生～中学校3年生
+きょうだいメンバー(ごきょうだいの小学校3、4年生の方)
+フレンドメンバー(小学校3年生～中学校3年生までのお友達)
※フレンドメンバーの場合ひとり親のご家庭でなくても登録が可能です。

開所時間

毎週 水曜日 17時～21時
※水曜日が祝日の週や夏休み期間は別の曜日に実施する場合があります。

費用

参加費無料

場所

北生涯学習センター
〒462-0841 名古屋市北区黒川本通2-16-3

連絡先

052-228-0280

サービス責任者

笹口 滉平

あしタネ。は、子どもたちとスタッフがとにかく仲良く、毎週アットホームな空間になっています。ケンカもすれば、仲直りもできる、友達とも家族とも違う、ここにしかない特別な関係が魅力です。夕方17時過ぎ、子どもが一人また一人と北生涯学習センターの和室に来ます。「今日は何する?」とある子どもがオセロを出しながら対戦相手を探します。対戦相手にスタッフを指名して対戦スタート、白熱していく中で気が付いたら周囲にギャラリーが集まって「こっちに置いた方が勝ち目ある!」とアドバイス。結果、子どもが対戦に勝つと皆で「バンザイ!」と拍手をしながら両手を上げていました。

その後、「オセロじゃみんなて遊べない」と子どもが言ったきっかけで、「トランプでポーカーやったらみんなて遊べる!」とアイディアを出してサークルになって遊んでいました。あしタネ。にはみんなで楽しもうの気持ちが溢れ、自然に笑顔になり、話題が増えて賑やかになる。あしタネ。にはいつも優しく穏やかな時間が流れています。

あしタネ。は子どもたちが中心となって創る居場所です。互いを認め合い、尊重して受け入れて、自由にありのままの自分で過ごせる場です。子どもたちの「ここに居てもいい」「ここに来ると安心する」の安心できる思いを大切に「やりたい!」「やってみよう!」の挑戦の気持ちを全力で応援します。

どんな背景があっても、自分の持つ可能性のイメージを持って未来に夢や希望を持ち、子どもたちが「また、あしたね!」と言える、そんな場所を私たちは創り続けます。



ささしま みんなのいばしょまいまい

Mail:office@sasashima.info (イトウ)
日時:原則土曜日(月3回)10時30分～14時30分
月曜日(月1回)17時～21時



中村区のささしま事務所と中村コミセンで、体験の場と子どもが安心して過ごせたらと毎週開催しています。公園でサッカーや鬼ごっこ、絵画教室、季節の行事も大切にイベントを企画して楽しく過ごせる居場所を作っています。

「今度のごはん会は何にする?」「冷やし中華!」「餃子!」と、こども会議での一コマ。月イチご飯会でのメニューを話し合い、みんなで調理して食べる、子ども主体の居場所です。

サバンナきち(特定非営利活動法人こどもNPO)

☎052-848-7390 (ヤマダ)
Mail:office@kodomo-npo.or.jp
日時:原則毎週土曜日 13時30分～17時30分



日常をつくろうとしています。同会場では子ども食堂や学習支援も行っており、一人ひとりが遊びながら複合的に参加することが可能になっています。

あすなろクラブ

☎052-671-8639 (ワタナベ)
Mail:sounennji@gmail.com
日時:原則毎週水曜日 17時～21時



ご飯タイムが始まります。食後はお楽しみチャレンジタイム♪陶芸や茶道、外国の人とお話など、経験を積んだり視野を広げる目的で実施しています。隣に誰かがいる、話を聞いてくれる、一緒に笑える、そんな安心できる居場所です。

よりそい訪問サポートなごや

(名古屋市家庭訪問型相談支援事業)



大切にしていること

『身近なキーパーソン』となる。

子どもや家庭の困りごとと一緒に向き合っていくための「信頼関係」を構築することがすべてに先行する。

対象者

小学校・中学校・高校年齢の困りごとを抱えたお子さまとその保護者様

場所

対象となる子どもや保護者の希望を考慮し依頼元機関と協議の上、決定
(例: 自宅、近くの公園、フリースペース、大型ショッピングモールのフードコートなど)

受託者住所

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1丁目21-35
地下鉄鶴舞線「大須観音駅」3番・4番出口より徒歩1分

連携調整員リーダー

板津 英司

訪問頻度

原則週1回、利用時間は最大2時間まで

訪問時間

午前9時から午後9時までの間
(土日、祝日、年末年始(12/29~1/3)は除く)

担当区域

東区、北区、西区、中村区、中区、熱田区、中川区、港区
(他区域は株式会社トライグループが担当)

受託者連絡先

052-223-2200

事業に関してのお問い合わせ

052-972-3199(名古屋子ども青少年局こども未来企画室)

家庭訪問支援を通じて感じること。子どもたちの表現(言葉や行動など)を丁寧に受け取り、その表現の中に込められたメッセージ(気持ち)に気づき、認め、尊重することが、子どもたちとの関係づくりにおいてとても大切なことであると感じています。私たちの関わる子どもたちは、自分の感情を表現することが苦手であったり、思っていることを素直に表現できない、試し行動をしたりする子がいます。そもそも大人を信用できず、言っても仕方がない、と表現することをあきらめている子もいます。しかしながら私たちは「安心安全で居心地のよい空間」で「本人の関心のあることを一緒にやること」を続けることで、子どもたちが少しずつ自分のことを表現してくれるという経験をしてきました。

そのような子どもたちのいくつかの言葉や行動の中から、真のメッセージを見つけることがわたしたちの役割です。すぐには見つからないかもしれないけどあきらめることなく探し続けること、それは宝探しをしているようなものです。表現のきっかけとして、私たちは「子どもたちと一緒に何かを作る」という体験を大事にしています。「自己紹介カード」を作ってお互いに自己紹介し合ったり、「やりたいことリスト」を作って二人で今後やることを計画したり、「ゲーム」を作って一緒に遊んだり、一緒に絵を描いたり、物作りをしたりしています。一緒に何かをやることで、新しい一面が見られたり、得意なこと・苦手なことを知れたり「安心して失敗ができる」と新しいチャレンジにつながった子もいます。周りの大人たちじゃない、子どもたち自身のメッセージを聴くことができる関係性を作ること、そして一緒にチャレンジするプロセスを体験・共有することを通して「身近なキーパーソン」となるよう活動しています。



PFS学習会

(名古屋市中学生の学習支援事業 / 高校生世代への学習・相談支援事業)



大切にしていること

環境によって子どもたちの未来が制限されないよう、一緒に体験に取り組み、一緒に学びに取り組み、一緒に悩み苦しみ、一緒に希望を見出してゆく。

名古屋市中学生の学習支援事業

下記対象者に対して無料の学習会を開催し、学習習慣を定着させ、学習及び進学の意欲や、児童の自立への意識を醸成するとともに、児童の居場所づくりの活動や保護者の養育支援などを総合的に実施することで、対象世帯の自立を促進することを目的とします。

対象者

名古屋市内に在住の「生活保護世帯」「生活困窮世帯」「ひとり親世帯」の経済的に困窮した家庭の中学1年生～中学3年生の児童
現在高校生世代で、中学生時代に学習支援事業を利用したことがある児童

費用

参加費無料

連絡先

052-228-0280

管理責任者

櫻井 利雄

名古屋市高校生世代への学習・相談支援事業

下記対象者に対して、自主学習の場の提供による高校生活への定着支援や児童交流の取り組みを行うとともに、職業や進路、家庭環境や友人関係など様々な悩みに対する相談支援を行うことで、対象児童に自分の将来を考えるきっかけを提供することにより、学校から社会への移行を考え始める高校生世代の児童等に対して学習・相談を含めた包括的な支援を行うことを目的とします。
(※いずれも愛知PFS協会を含めた事業者によって市内150会場で実施されています。)

開所時間

毎週火曜日～金曜日の週2回または週1回
18時～20時もしくは18時30分～20時30分
(会場によって曜日、時間帯が異なります)

場所

中区(中生涯学習センター、中消防署)
東区(東生涯学習センター、東消防署)
北区(北生涯学習センター、金城コミュニティセンター)

PFS学習会の目指す方向性

- ・体験し学び、いろいろな世界があり、いろいろな生き方があることを知ることができる場所
- ・信頼できる人がここにはいる、自分を受け止めてくれる人がいると思ってもらえる場所
- ・家庭や学校以外に、自分の居場所を見出し、自己選択ができる場所

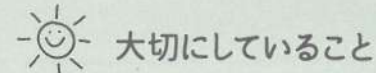
学習会は学ぶ場所でもありますが、同時に様々なことを体験する場所でもあり、生きる知恵を獲得する機会になると考えています。一緒に悩み考え、一緒に発見したり創り楽しむ、そういう人たちがでありたい、この場所に来れば「信頼できる人」「自分を受け止めてくれる人」がいる、それが私たちPFS学習会スタッフの目指す姿です。

そして「居場所」「自己選択ができる場所」それがPFS学習会の目指す場所です。日頃の学習会での取り組みを積み重ねて、少しずつ「PFS学習会の目指す方向性」に近づくことをモットーにしています。スタッフ同士の深いコミュニケーションを大切にして、学習会後のミーティングや全体研修会の場で互いの行動や子どもたちとの関わりを共有し合い、一体感を持って会場で穏やかに過ごしています。



研修事業

(愛知PFS協会 管理本部)



ピアサポート × ピアエデュケーション
受けっぱなしじゃ終わらせない! 行動変容のキッカケづくり

愛知PFS協会ではワークショップやテーマディスカッションを中心とした研修を事業別に年50回程度実施しています

Point1 学び合いで理解を深める 現場で働く職員が知り合い、対話や学び合いを大切にします。

Point2 ワークで身に付ける ワークショップで他者のアイデアや価値観に触れ、知識を深めます。

Point3 実践につながる学びを得る 事例やロールプレイで、明日から現場でできる「小さな実践」を重ねます。

愛知PFS協会、こどもNPO合同研修(2023年度実施)

目的 ... 互いを知り合う場・研修参加で得た学びを現場で活かす

目標 ... これまで学んだM V Vを他者に伝え、得た知識や経験を自らの業務に取り入れたり熟慮する機会とする

M : Mission (使命)
V : Vision (理想の未来)
V : Value (もつべき価値観)

参加した皆さんの感想

自団体や他団体の職員の大切にしていることを学ぶことが出来た。

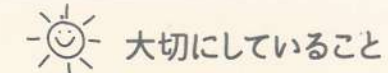
他団体との交流は、日頃にはない刺激を受け、自身の考え方などに新たな引き出しができるいいきっかけとなりました。

組織全体の雰囲気や空気感など、代表などの言葉だけでは分からないものをとても感じることができました。

同じような志を持って活動する団体との合同研修は楽しくワクワクしました。

問い合わせ・研修担当 近藤慎吾

Personal Future Support



どんなことがあっても、前を向ける強さを信じる

対象者

子ども・若者世代

費用

原則無料 ※賛助会員の登録必須

対応時間

応相談
※状況に合わせ柔軟に対応します

連絡先

052-228-0280
080-4112-2145(緊急時)

対応スタッフ

星野 智生、大山 娃里、
早川 菜優希 他

対応範囲

名古屋市及びその近郊にゆかりのある子ども・若者
※必要に応じて全国対応します



コメント

Personal Future Support事業はPFSの名前ともなっている通り「すべては一人ひとりの未来のために」を理念とした非営利での活動となります。主には少年院の面会や、PFSのその他の事業や各種制度に当てはまらない子ども・若者の社会内でのサポートなどを中心として、あらゆる対応を行っています。子ども自身のSOSから繋がるケースも多く、既に10年近く関わり続けている方もいます。活動は皆さまからのご寄付に頼る部分が多く、継続的な支援のためにもご協力をお願いいたします。

スタッフコメント ※1年間一緒に活動し、年間延べ200件以上の対応をしてくれた早川からのコメントです。

Q一年間当事業で多くの子ども・若者と関わってどうでしたか?

Personal Future Supportで関わる子ども・若者は他事業で関わる利用者とは違った特別な理由があったり、関わり方が想像できないほど難しいのかなと勝手に身構えていましたが、実際は全然そんなことはありませんでした。環境や人によって自分の良さを見失ったり、子ども・若者の未来が暗くなっていくことがないようにこれからも関わっていききたいと思いました。

Q大阪や沖縄など遠方へ出向いての対応もありましたがどうでしたか?

楽しかったです。というのも、私自身気分転換をめちゃくちゃしたいタイプなので、通常の場所とは違った遠方に行くというのはとてもいい気分転換になっていたと思います。
対応も最初は不安と緊張でドキドキだったんですが、対応の回数を重ねるごとに笑顔を見せてくれる時間や子ども・若者から話してくれることが増えていく様子を見るのが嬉しくて次に会える日を楽しみに頑張ってたな~と思います。

Q子ども・若者へ向けてのメッセージ

生きていれば、嬉しいことや楽しいこと、悲しいこと、苦しいことなどがあると思います。
数々の場面に会ったとき、自分なりの発信やストレス発散、誰か一人にでもその気持ちや出来事を伝えることができるいいな、そんな人を見つけて欲しいなと思っているので、私はそのお手伝いができたら嬉しいです。
みんなが幸せを感じる時間、笑顔の時間が増えますようにと願っています^_^

事務局

(愛知PFS協会 管理本部)



大切にしていること

働く人の環境を整え、支える!

PFSの影でひっそりと動く謎の組織、事務局。彼らは一体どんな存在なのか、ここで一部紹介していこう。

★事務局ってどんな組織なの?

愛知PFS協会事務所の一番奥の暗いところでいつもパソコンをニヤリとしながら叩いている。

表向きは現場の人たちのバックアップをしている風だが…これ以上は語れない。

一部スタッフ紹介 (事務局は全員で6名)

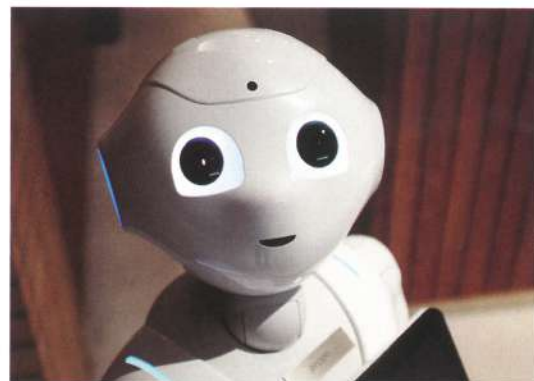
近藤 慎吾

普段企んでいること

私たち事務局はPFSに関わっている利用者や関係機関の方々と直接お会いする機会が他の事業の方よりも少なく、外部との接点は電話でのやりとりがメインです。直接お会いする少ない機会を大切にすることはもちろんですが、PFSで活動してくださっている皆さんが笑顔で利用者や関係機関と接することが出来るようバックアップができるように日々心掛けています。

一言モノ申す

Pepper君を事務局員として採用し一緒に働く。



竹村 春香

普段企んでいること

PFSに寄せられる相談内容は、相談の主訴・希望する支援やサービスがそれぞれに異なります。初めの入り口で相談者の方が迷わないように、適切な対応窓口へと繋げられるようにと意識しています。また、高等学院やデイサービスの事務対応の中で、感覚的に気になった事や知り得た事情などを、自身の判断で「問題の起こり始めの初期段階」のまま看過する事のないように、現場のスタッフ(教員や児童指導員)へも共有をして、必要な対応・支援を受けられるよう繋ぐ事を心掛けています。

一言モノ申す

日々、ここでお仕事をする人たちが健やかであってほしいです。

田中 陽之介

普段企んでいること

我々事務局は、主に現場の皆さんのバックオフィス業務を担っています。「現場を止めない」ことを念頭に、「現場の皆さんが動きやすいように」心掛け、「事務局の皆も含めて動きやすい環境を作る」ことを常に考えて日々の仕事をしています。

一言モノ申す

全事業の子どもたち・親御さんとスタッフとで、山でキャンプファイヤーをする!!



その他、3名がさらに暗躍中。

広報室

(愛知PFS協会 管理本部)



大切にしていること

想いや考えを引き出し、コトバに現す『らしさ』の瞬間にシャッターを切る
渡すものはデータではなく、ワタシたちの気持ち

広報誌(2022年度～)

VOL.1

Personal Future Support
名古屋みらい高等学院(広域通信制高校サポート校)

VOL.2

子ども・若者のための居場所マップ(名古屋市内)
あしたネ。(名古屋市ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業)
みらいe。(名古屋市若者自立支援ステップアップ事業)

VOL.3

#久屋でチルする?

VOL.4

愛知PFS協会の「研修」
アフタースクールPFS(児童発達支援/放課後等デイサービス)
PFS学習会(中学生の学習支援事業/高校生世代への学習・相談支援事業)

VOL.5

よりそい訪問サポートなごや(名古屋市家庭訪問型相談支援事業)
#栄でチルする?

VOL.6

こどもとPFSと夏

VOL.7

#栄でチルする?



コメント

2022年から3~4か月に一度のペースで刊行しています。まずは私たちの活動を知っていただきたい、よりたくさんの方と繋がりたいという一心で様々な記事を作っています。2023年度から広報室が立ち上がり、できたことは発信ばかりでした。大切にしていることは、まだ成長途中ではありますが、次のステップは読んでくださり、観てくださる方が何かを伝えようとしたときに真っ先にお声が聴ける私たちになることだと考えています。いつでも気軽にお声がけいただけるような広報室であるよう取り組んで参りますので、どんなことでも、まずはご連絡ください。

#栄でチルする 広報用動画

2023年6月から作り始めた動画は60を超えました。子どもや若者に見てもらえるよう全力で楽しみながら本気でふざけています。

『教えて星野さん! 教えて早川さん!』シリーズ、『チルの現場から』シリーズぜひ、その目でご覧ください。

動画は各種SNSからご覧ください!

instagram



TikTok



X



連絡先

早川 遥・宮田 直子
052-228-0280(事務所)

